

産婦人科看護講義内容 (昭和31年春)

講義内容	備考
第一章 序論 I. 産婦人科看護の目標 II. 母子衛生の諸問題 社会的関係 衛生統計の示すもの	特に実習又は実物 教示と行った也 (回数) 0.5
第二章 各論 第一节 産科看護 I. 妊婦の看護 (1) 外来における妊婦診察と介助 診察室の條件 診察法、妊婦の観察 諸検査 (2) 妊婦の保健指導 保健指導の方針 一般指導 妊娠各月における指導法 分娩の準備 家族関係の調整 (3) 異常妊婦看護及び予防 妊娠に起因する主たる疾患 局所性疾患 { 母体側 妊婦側その他 妊娠中の偶発性母体疾患	1.5 診察用具 予診のとり方 外計測法 外診法 Friedman 反応 1.5 母親学級について (栄養学との関連) 分娩準備品 新生児用品 (精神衛生) 1.5 救急処置 出血、子痛発作等 (各科との関連)

II. 産婦の看護

1.5

分娩取扱上の要件

分娩室の準備 {病院 家庭}

産婦の観察 {初産 経産}

分娩時の看護

分娩後の処置

分娩介助用具
(導尿、基礎看護)

陣痛測定

心音聴取

分娩経過観察

子宮収縮

III. 新生児の看護

1.5

新生児の観察

新生児取扱上の注意

新生児の看護

分娩による新生児の障害

新生児疾患の看護

奇形児の取扱い (討論講義?)

出生時諸計測

沐浴、首類

授乳法

(調乳は小児科にて)

蘇生法

IV. 未熟児の看護

V. 褥婦の看護

看護の方針

経過の観察

褥婦の取扱い

授乳指導

VI. 退院時指導

母親の衛生

新生児の看護

今後の家族計画

VII. 異常分娩の看護

産道の異常

娩出力の異常

胎児及び附属物の異常

分娩中に起る合併症

(ガートル学養 オイルバス等)

(小児科及び賛助会) 1.

(32年交付 総合講義院)

子宮収縮計測 1.5

分泌物

(利尿右消毒基礎看護)

乳房マッサージ

産褥体操

(保健所、小児科の連絡) 0.5

沐浴、調乳

鉗子分娩

救急処置

出血、シヨツ

Ⅳ 異常産褥の看護 感染 (発熱、炎症) 性器の異常 乳房及び乳腺の異常 その他の合併症	1.
Ⅴ 産科手術	1.
Ⅵ 無痛分娩 原理と方法	1.
婦人科看護	0.5
Ⅰ 患者取扱上の要件 患者心理 家族関係の調整	
Ⅱ 外来診療の助と保健指導 諸診察法 諸検査法 諸治療法 保健指導	1.5
Ⅲ 主たる婦人科疾患患者の看護 炎症性疾患 腫瘍、出血	1.5
Ⅳ 手術患者の看護 手術前後の取扱い 観察	1.5
Ⅴ 家族計画と不妊症の指導	1.5
	診療器具、薬名
	理学療法 コバルト ラジオ波
	test 心機能 (腎機能(泌尿科)) 留置カテーテル 腔洗